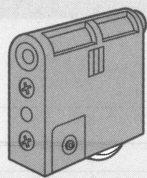


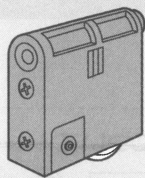
部品交換方法

戸車

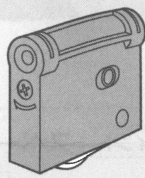
品番: MJB908□ (□:K/NK/N/W)
 MJB907□1 (□:K/NK/N/W/B)
 MJB901XM1
 MJB900□S1 (□:A/M/N)



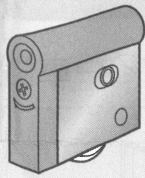
MJB908□



MJB907□1



MJB901XM1



MJB900□S1

- Panasonic内装ドアをご愛顧頂き、まことにありがとうございます。
- 修理・調整に伴う事故や破損につきましては、当社は責任を負いかねます。
- 作業が難しくなられた場合は、工務店様または当社**修理ご相談窓口***1へご依頼ください。
- 施工前に必ず本書をご一読頂き、安全で確実な作業をしてください。とくに「安全上のご注意」については必ずお守りください。

安全上のご注意 必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。
- お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

注意

- 引戸と敷居・枠のすき間に手や指を入れない

指をはさみこみ、けがをするおそれがあります。

- 引戸に衝撃をあたえない

指のはさみこみやガラスの破損などでけがをするおそれがあります。

- 指定の商品以外は使用しない

本体や部品の破損などでけがをするおそれがあります。



禁止



必ず守る

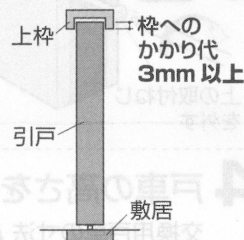
- 上枠に引戸が十分(3mm以上)かかっていることを確認する

かかりが少ないと、引戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。

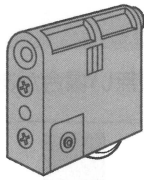


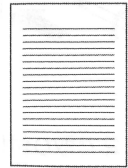
- 作業中は引戸を支える

- 必ず**二人作業**で行う

引戸重量が重いため、引戸本体が転倒してけがをするおそれがあります。



同梱部材

戸車	取付ねじ	戸車取外し治具(紙片)	部品交換方法チラシ(本書)
 2個 ※図は、MJB908□の場合です。	 2本	 4枚	 1枚

お客様準備品

- ① 3mm厚程度のダンボール紙など (スペーサー(引戸固定部材)として使用)
- ② 軍手
- ③ 手回しプラスドライバー

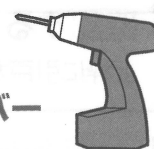
交換時のご注意

- 戸車に潤滑油やグリスをささないでください。
部品の割れや変形、変色を生じるおそれがあります。
- 下レール溝の細かいごみは、掃除機などできれいに取り除いてください。
戸車にごみが絡まり、引戸の走行が重くなるおそれがあります。

- 部品交換・調整に、電動ドライバーを使用しないでください。
部品を損傷する原因になります。



電動式
ドライバー
禁止



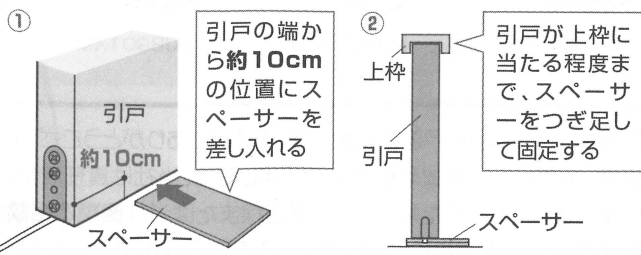
戸車の交換方法

1 一人が引戸を持ち上げる (交換する戸車側)

2 もう一人が引戸と床レールとの間にスペーサー (引戸固定部材) を差し入れる
(3mm厚程度のダンボール紙など)



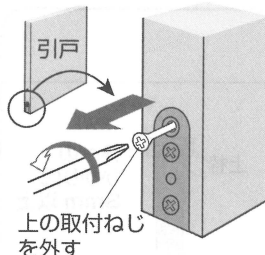
ポイント スペーサーについて



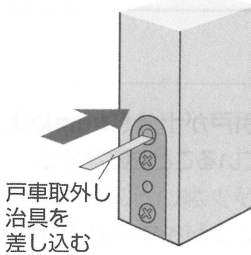
3 古い戸車を外す

引戸下部の戸車の取付ねじを取り外し、戸車を取り外してください。

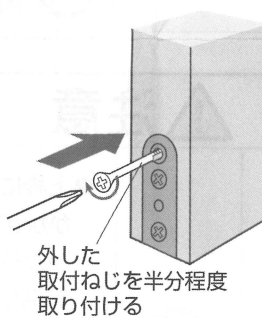
① 上の取付ねじを外す
上→取付ねじ
中→上下調整ねじ
下→左右調整ねじ
(※MJB907□1の場合)



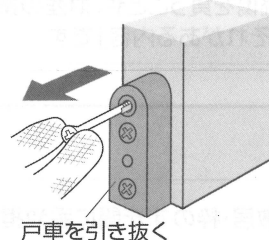
② 取付ねじを外したあと、戸車取外し治具 (紙片) をねじ穴に差し込む (1~2枚)



③ 外した取付ねじをねじ穴に半分程度ドライバーで取り付ける

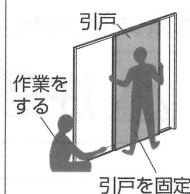


④ 取付ねじ頭部を引っ張り、戸車を引き抜いて取り外す



取付ねじが戸車から外れる場合は、戸車取外し治具の枚数を増やし、再度②以降の作業を行う。

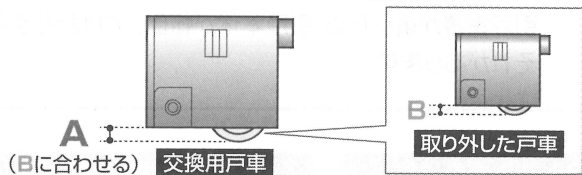
作業時のご注意



- 作業中は、一人が引戸を固定しておく
- 戸車を外す際は、軍手を着用する

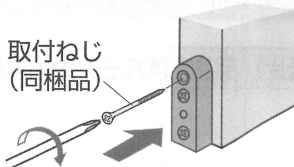
4 戸車の高さを合わせる

交換用戸車の寸法 A を、取り外した戸車の寸法 B に合わせてください。



5 新しい戸車を取り付ける

同梱のねじで戸車を取り付けます。



6 スペーサーを取り外す

戸車を交換した側の引戸を少し持ち上げ、2で取り付けたスペーサーを取り除きます。

7 戸車を調整する

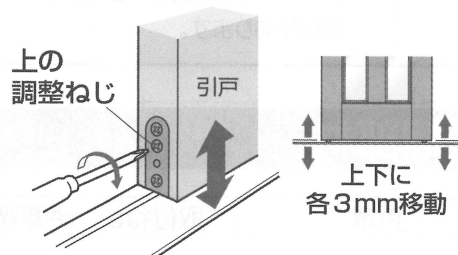
引戸を開閉して、引戸が枠と当たる場合は、戸車にて引戸の建て付けを調整してください。

8 確認する

上枠に引戸が十分(3mm以上)かかっていることを確認してください。(「安全上のご注意」をご覧ください)

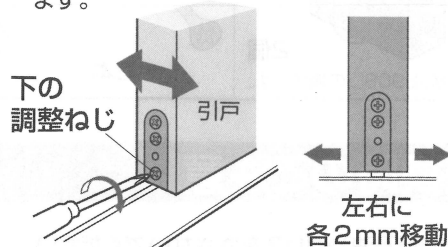
戸車の調整方法

高さ調整



左右調整

※品番により左右調整機能が無い場合があります。



※図は、MJB908□の場合です。

※1 修理ご相談窓口

フリーダイヤル 0120-872-150
sumai.panasonic.jp/support/repair/

※携帯電話からもご利用になれます。
●左記番号がご利用いただけない場合 06-6906-1090
【受付時間】月~土/9:00~19:00 日・祝日・年末年始/9:00~18:00